

Hello, from  
Around the World

# ALT通信

白河で活躍するALT（外国語指導助手）を紹介！



ウィルソン・リー先生  
(オーストラリア ヴィクトリア州)

☎本庁舎学校教育課 内2365

## 白河の祭りはエキサイティング！

みなさんはじめまして！私は昨年の7月に、オーストラリアのメルボルンという「オーストラリアフットボール」が盛んな街から来ました。近くには、有名な観光地のグレートオーシャンロードがあり、とてもきれいな海岸線をドライブできます。

私の趣味は、フルートを演奏したり、料理したりすることです。カレーはこだわりのスパイスから作っています。

白河は自然も多く、施設も充実しているので、住みやすいです。南湖公園を散歩したり、りぶらんで読書したりすることが好きです。マイタウンでは、日本語の勉強もしています。昨年の夏、浴衣を着

て参加した「白河関の踊り流し」は、とても楽しかったです。今年も参加したいと思っています。

皆さんどうぞよろしくお祈りします。(次回に続く)



▲昨年の踊り流しに参加した様子

英語で一言！  
Strike while the iron is hot.  
「鉄は熱いうちに打て」  
(好機を逃すな、善は急げ)

## シリーズで学ぶ 白河歴史人物伝

様々な評価がある藩主

### 本多忠義

(1602～1676)

#### 《生い立ち》

本多忠義は、慶長7年(1602)、忠政の三男として生まれました。祖父は「徳川四天王」の一人、本多忠勝です。母は徳川家康の孫であり、家康の曾孫にもあたります。元和元年(1615)、豊臣家が滅亡した大坂夏の陣の際、忠義は14歳でしたが、家康に願って特に出陣を許され奮戦しました。

その後、姫路で領地を与えられて大名となり、慶安2年(1649)、白河藩主となりました。

#### 《白河藩主として》

忠義は、領内の検地を行い、新たに開かれて年貢を取っていない田畑への課税や、土地ごとの年貢率の引き上げなど、年貢収納の強化を図りました。そのため、領民を苦しめた藩主として、後々まで伝えられました。

一方で、明暦3年(1657)に城下の鹿嶋神社に神輿を奉納しました。これにより、現在に続く「提灯まつり」がはじまったとされます。

Vol.15

また、現在の市役所付近に造った隠居所に、弁財天を祀ったのが現在の龍興寺のはじまりと伝わるなど、白河の文化に重要な役割を果たした一人といえるでしょう。

#### 《晩年の逸話》

大名松浦静山の随筆によれば、忠義は源義経に従った弁慶を尊敬しており、隠居の時、幕府に「武蔵坊弁慶」への改名を申請しますが、却下されてやむなく「能登坊」(現役時「本多能登守」と称したため)を名乗ったといえます。

隠居した忠義は延宝4年(1676)、白河で75歳で亡くなり、子の忠平まで白河を治めました。



本多忠義筆  
「破墨山水図」  
(白河市歴史民俗資料館蔵)



本多忠義奉納 神輿  
(鹿嶋神社蔵)

文化財課 ☎272310